

竹とんぼ

真竹を丁寧に削っていき、羽を作ります。芯棒と組み合わせると、空へ舞い上がっていきます。自分で作った物が、空を飛び回る姿には感動を覚えます。色を付けると素敵なオリジナル竹とんぼの完成です。



ねらいとして考えられるもの

- ・創造力、表現力を高める。
- ・生活、文化を学ぶ

可能な活動場所

- ・ピロティ、車庫、避難所

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導可*1	4年生以上	通年	10~60人*2	2時間半	50円

団体が準備するもの

軍手軍手（滑り止めのあるもの）、
筆記用具

げんきプラザが準備するもの

材料、小刀、接着剤、マジック

実施要領

導入

- ① 動機づけ
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

準備（1作業台 2~3人程度）

- ① 作業台を準備する。
- ② 小刀人数分、真竹（羽1枚、軸1本）、作業マット人数分
- ③ 道具は説明後に配布するので、説明作業台の上に準備。

実施

- ① 羽の材料表面を図のようにゆっくり削っていく。（※左利きの人は左右が逆）
※この時左右が同じ暑さになるように削っていく。
※端を削り過ぎると、羽が割れてしまうので注意すること。
- ② 裏面も同じように削っていく。
※羽の角がとがっていると危ないので丸くする。
- ③ ある程度羽が削れたら、軸を削っていく。
※軸が穴より細くなりすぎないように少しずつ削る。
- ④ 形が出来上がったら飛ばしてみる。
- ④ 飛び方を見ながら、修正を加え更に飛ばすようにしていく



できあがり



片付け

- ① 道具類は入っていたケースに入れ、あった状態に戻す。
- ② 使用した作業台を元あった場所に戻す。
- ③ 下に落ちた木くずやゴミを掃き掃除する。ゴミは掃除用具入れ脇のペール缶へ。

まとめ

- ・ふりかえり
- ・下記参照

留意点

- ① 刃物等、怪我をする道具を使用します。正しい使い方を守って作業して下さい。
- ② 材料を押さえる手に軍手を装着し、道具は素手で持つようにしましょう。
- ③ 右利き用と左利き用を間違えて飛ばすと、自分の顔に向かって飛んでくるので注意しましょう。
- ④ 後片付けはみんなで協力し、次の団体にも気持ちよく作業をしてもらえるようにしましょう。

指導のポイント・展開のアイデア

- ・羽の端欠けてしまう子が多く見られます、なるべく小刀の角度を浅くして、羽全体を削るようにしましょう。
- ・飛ばし方は、右手を手前に引いて構え、両手をこすり合わせながら右手を前に出すようにして飛ばす。左利き用は反対の要領で飛ばす。
- ・みんなで並んで、距離・高さを競っても面白いです。更に高く、遠くへ飛ばすための工夫を考えてみましょう。
- ・時間が余った子には色を塗り、飛んだ時にどの様に見えるかを考えたりも出来ます。

*1 指導可能時間は 9:15～11:45 13:00～17:00 です。指導希望団体が重なる場合等、ご要望に添えない場合や、団体指導者をお願いすることがあります。

*3 60人を超える場合は、2班に分けて実施したり、交代で実施していただく場合もあります。